

認知症ケアサポーター スキルアップセミナー

2017年 **2**月 **3**日(**金**)
15:00-18:00 久留米シティプラザ
(写真は久留米シティプラザ駐車場入口)



小路純央



大谷るみ子



村瀬孝生

～認知症と、共に暮らすまち～

主催：日本ホスピス・在宅ケア研究会

[お申し込みはこちら](#)

認知症と、共に暮らすまち



認知症患者さんの増加は、ホスピスや在宅の現場でも大きな影響を与えています。そして、それに最も正面から向き合っているのは、介護する家族や現場の介護士、訪問や施設の看護師などかと思えます。ただ、現場の人々が認知症に関する知識を学べる場は、まだ少ないのが現状です。今回は、現場で悩み、さらに認知症について学びたいと考えている方々を主な対象に、

- ・認知症に関する知識をさらに高めること
- ・認知症の人々が、病気を抱えても住み慣れたまちで暮らしを続けられること
- ・そのためのまちの取り組みについて、共に学んでいくこと
- ・認知症の人々が暮らしやすい社会を作ること

これらを目的とし、3名の講師をお呼びし共に学べる場を開きます。

I 「認知症・高齢患者への対応～アセスメントの重要性と治療・ケアのポイント～」

講師

小路 純央 (しょうじ よしひさ)

久留米大学 高次脳疾患研究所 准教授

久留米大学医学部 神経精神医学講座 准教授

日本精神神経学会 指導医・専門医

日本認知症学会 指導医・専門医

日本老年精神医学会 専門医

認知症サポート医

福岡県認知症施策推進会議 委員

福岡県医師会認知症支援体制検討委員会 委員

II 「まちでみんなで認知症の人をつつむ～当事者に学び共に築くまちづくり～」

講師

大谷るみ子 (おおたに るみこ)

社会福祉法人東翔会グループホームホーム長

全国グループホーム団体連合会副理事長

NPO福岡県高齢者グループホーム協議会理事長

大牟田ライフサポート研究会代表

大牟田市で10年前より認知症になっても最期まで住み続けられる、町づくりに取り組み成果を上げる。現在、現場で様々な認知症介護に取り組みながら、認知症になっても住み続け普段の生活ができる町づくりについて全国で講演活動

III 「よりあいの森の取り組み・・・地域交流」

講師

村瀬 孝生 (むらせ たかお)

特別養護老人ホームよりあいの森 代表

あたりまえのことがあたりまえにできる暮らしの場、そのひとらしくいられる居場所であるように

お年寄りと共に日々を過ごす場

—よりあいの森の住人—

お迎えが来るまでわずかな時間をささやかに生きていきますので、どうぞわたしたちの暮らしを共に作り、支えていただきたいとねがっています。



第24回 日本ホスピス・在宅ケア研究会
全国大会in久留米 事務局

〒830-0041 久留米市白山町390 齋藤医院内

電話: **080-3220-8856**

FAX: 0942-30-5240

E-mail: 2017kurume@mbr.nifty.com

寄付・協賛金はこちらによりしくお願い致します

福岡銀行 久留米営業部 普通預金

口座番号: 2911818

口座名称: 第24回日本ホスピス・在宅ケア研究会

全国大会in久留米 実行委員長 齋藤如由

ゆうちょ銀行

店名(店番): 一七九(イチナナキュウ) 当座預金

口座番号: 144541

口座名称: 日本ホスピス・在宅ケア研究会全国大会